

健康づくり受診券を使って受けられる検診・予防接種

ご自分の受診券シールに印字のある検診が受けられます

受診券シールには令和8年3月31日までに達する年齢が印字されています

対象者	検診等の種類	自己負担金 ★			内容等	
		集団	セット	個別		
男女共通	40歳～	胸部（肺がん・結核）検診	500円	500円	500円 （※65歳以上無料）	胸部エックス線撮影
	50歳～	かくたん検査 ※かくたん検査のみの受診は不可	500円	500円	500円	たんの細胞検査 ※喫煙指数600以上の人（喫煙指数＝1日の喫煙本数×喫煙年数） （胸部検診時、対象となる人にご案内します）
	40歳～	胃がん【バリウム】検診	800円	800円	—	胃部エックス線撮影 ※70歳以上の人は個別の内視鏡検診をお勧めします
	40・45・50歳～	胃がん【内視鏡】検診 ※前年度に受けていない人	—	—	2000円	内視鏡（胃カメラ） ※当日の体調や問診により受けられないこともあります
		胃がん【リスク】検診 ※1回のみ	—	500円	500円	血液検査（胃の萎縮度やピロリ菌感染の有無） ※平成29年度以降に1回受けると、その後は対象となりません
	40歳～	大腸がん検診	400円	800円	800円	2日分の検便検査（便潜血検査） ※生理中の採便はしないでください ・集団検診は予約した保健センターから容器を郵送します ・がんセット検診・個別検診は検診当日に容器を配布します
	40～75歳	肝炎ウイルス検診 ※未検査の人	—	—	無料	血液検査（B型肝炎・C型肝炎の感染状況を調べます） ※過去に検査を受けたことがある人、過去にB型・C型肝炎の治療を受けたことがある人、現在治療中の人は対象外です
20・30・40・50・60・70歳	成人歯科健診	—	—	800円	口腔内診査（歯・歯肉の状況、口腔内の清掃状況等）	
女性	40歳～	乳がん検診 ※前年度に受けていない人	1300円	1500円	1500円 （※視触診なし 1200円）	マンモグラフィ（乳房エックス線撮影）・視診・触診 ※実施医療機関により視診・触診の有無（自己負担金）が異なります 集団検診では視診・触診・甲状腺も診察します
	20歳～	子宮がん検診	600円	800円	800円	子宮頸部細胞診 ・30、35歳の人は希望によりHPV検査を無料で実施します ・個別検診では医師が必要と判断した場合、体部の細胞診検査も行います（別途400円）
	40～70歳 5歳刻み	骨量検診 ※40・45・50・55・60・65・70歳対象	—	—	1000円	手のエックス線撮影
男性	50歳～	前立腺がん検診	500円	500円	500円	血液検査（腫瘍マーカーPSA値の測定）
若年者	19～39歳 S61.4.1生まれ	はつらつ健診	1000円	—	—	問診、診察、身体計測、血液検査（血中脂質・肝機能・糖）、血圧測定、検尿（たんぱく・糖） （医師が必要と判断した場合、心電図、眼底、貧血検査）
	20～39歳	ピロリ検診 ※1回のみ	無料	—	無料	血液検査（ピロリ菌感染の有無） ※過去に1回受けると、その後は対象となりません ※集団検診は、はつらつ健診と同時に実施となります
定期予防接種	接種当日に満65歳以上の人 ※①	インフルエンザ	—	—	1500円 ※②	◇接種期間：令和7年10月1日～12月末 医療機関の診療日に準じます（土日祝・年末の休診日に注意） ※①心臓・腎臓・呼吸器・免疫の機能が身体障害者手帳1級か同程度の障害があると医師に判断された60～64歳の人も対象。 受診券に予防接種の印字がない人でも、接種当日に65歳以上であれば助成の対象になります。医療機関窓口で申し出てください。 ※②生活保護や中国在留邦人等の支援を受けている人は無料
		新型コロナワクチン	—	—	広報高崎等で改めてお知らせします	

市外で接種を希望する場合の注意事項
市外の医療機関で接種を希望する人は予診票等を送付します。
接種希望日の2週間前までに保健予防課（027-381-6112）へご連絡ください。

注意事項

※検診受診前に受診券シール裏面の「検診注意事項」をご確認ください。

※市外に転出した場合、利用できません。転入先でお問い合わせください。



★検診の自己負担金が無料になる人

- ・70歳以上
- ・生活保護世帯、市民税非課税世帯※
(令和7年度、市民税非課税世帯の人が対象です)

※受診の際にお申し出ください。

お支払い後のお申し出の場合、無料になりません。

※市が世帯全員の市民税課税状況を確認することについて同意していただいたうえで、受診していただきます。確認後、該当でない場合は、自己負担金を請求させていただくことがあります。

◎定期予防接種の無料対象者は、生活保護や中国在留邦人の支援を受けている人です。

～要精密検査と言われたら、必ず精密検査を受けましょう～



受診後が大切!!
検診結果を活用しましょう!



主な精密検査の内容

胸部（肺がん・結核）検診	胸部CT検査：円筒状の装置の中に入り、胸部の輪切りの断層写真を撮ります。 気管支鏡検査：口または鼻から内視鏡を入れ、気管支・肺を直接見て観察します。
胃がん検診	胃内視鏡検査：口または鼻から内視鏡を入れ、胃の内部を直接見て観察します。 生検：病変が疑われた部位の組織を採り、悪性かどうかを調べます。
大腸がん検診	全大腸内視鏡検査：肛門から内視鏡を入れ、大腸の内部を直接見て観察します。 ※便潜血検査で「要精密検査」となった場合に、便潜血検査を再度受けることは適切ではありません。（精密検査を受けたことにはなりません。）
子宮頸がん検診	組織診・細胞診： コルポスコープ（膣拡大鏡）を使って、子宮の入り口の粘膜表面を拡大し、観察します。 同時に、病変が疑われた部位の細胞や組織を採り、悪性かどうかを調べます。 HPV（ヒトパピローマウイルス）検査： 子宮入口の細胞を採り、HPV感染の有無を調べます。
乳がん検診	マンモグラフィ：疑わしい部位を多方向から撮影し詳しく観察します。 超音波検査（エコー）：乳房に超音波をあてて、乳腺の状態を調べます。 針生検・組織診・細胞診： 疑わしい部位に針を刺して中の細胞や組織を採り、悪性かどうかを調べます。

- ・精密検査受診費用は自己負担（保険診療）です。
- ・検診や精密検査の結果は適正に管理した上で検診機関や医療機関と共有しますので、ご了承ください。
- ・精密検査の内容は、実施する医療機関や医師の判断により異なります。
詳しい検査内容については、受診される医療機関にお問い合わせください。